注３ **大学番号：私152**

届出

［平成３０年度設置］

計画の区分： 学部の設置

注１

新潟医療福祉大学　医療技術学部　診療放射線学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人新潟総合学園
令和２年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　学校法人新潟総合学園
企画調整部

職名・氏名　佐藤（サトウ）　裕也（ユウヤ）

電話番号　０２５−２５７−４４６７

（夜間）　０２５−２５７−４４６７

ＦＡＸ　０２５−２５０−０７５１

ｅ−mail　kikaku@nuhw.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和２年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医療技術学部

＜診療放射線学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人新潟総合学園

（２）大　学　名

新潟医療福祉大学

（３）調査対象大学等の位置

〒９５０－３１９８
新潟県新潟市北区島見町１３９８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（イケダ　ヒロム） 池　田　　弘 （平成13年4月）		
学　　長	（ヤマモト　マサハル） 山　本　正　治 （平成22年4月）	（ニシザワ　マサトヨ） 西　澤　正　豊 （令和２年４月）	前学長の任期満了に伴い、令和2年4月1日就任（２）
学 部 長	（ オイテ　タカシ ） 追 手　巍 （平成30年4月）	（スズキ　ツトム） 鈴　木　力 （平成31年４月）	追手教授の任期満了に伴う変更（元）
学科長等	（カサハラ　トシフミ） 笠原　敏文 （平成30年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療技術学部 診療放射線学科 学士 （診療放射線学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	年 4	人 90	年次 人 —	人 360	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	90人 90 （—） [—]	—人	90人 90 （—） [—]	—人	90人 90 （—） [—]	—人	人 （　） [　]	人	人 （　） [　]	人	1.00倍	1.00倍	合格者数には繰り上げを含む。
志願者数	572 (—) [—]	0 (—) [—]	447 (—) [—]	— (—) [—]	707 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
受験者数	562 (—) [—]	0 (—) [—]	435 (—) [—]	— (—) [—]	584 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
合格者数	184 (—) [—]	0 (—) [—]	211 (—) [—]	— (—) [—]	303 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
Ｂ　入学者数	90 (—) [—]	0 (—) [—]	90 (—) [—]	— (—) [—]	90 (—) [—]	— (—) [—]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.00		1.00		1.00								

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成３０年度		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	90 [－] (－)	－ [－] (－)	90 [－] (－)	－ [－] (－)	90 [－] (－)	－ [－] (－)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
２年次			89 [－] (－)	－ [－] (－)	88 [－] (－)	[－] (－)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
３年次					88 [－] (－)	[－] (－)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
計	90 [—] (—)		179 [—] (—)		266 [—] (—)		[　　] (　　)		[　　] (　　)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成30年度	90 人	1 人	平成30年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和元年度	179 人	3 人	平成30年度	1 人	0 人	学業不振(1人)
			令和元年度	2 人	0 人	心身不調(1人)、除籍(1人)
令和2年度	266 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合　計		4 人		4 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 1 / 90 = 1.11 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 3 / 179 = 1.67 %

【令和2年度】

令和2年度の退学者数(a) / 令和2年度の在学者数(b) = 0 / 266 = 0 %

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a) / 令和3年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

【令和4年度】

令和4年度の退学者数(a) / 令和4年度の在学者数(b) = 0 / 0 = #DIV/0! %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜医療技術学部　診療放射線学科＞

（1）ー① 授業科目表

【届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教養科目群	基礎ゼミ	1前	1			5	4	3	2		
	情報処理Ⅰ	1前	1								2
	情報処理Ⅱ	1後	1								2
	情報処理Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								4
	英語Ⅱ	1後	1								4
	アカデミック英語Ⅰ	2･3･4前		1							1
	アカデミック英語Ⅱ	2･3･4後		1							1
	アカデミック英語Ⅲ	2･3･4前･後		1							1
	韓国語Ⅰ	1･2後		1							1
	中国語Ⅰ	1･2後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1･2後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1･2後		1							1
	韓国語Ⅱ	2･3前		1							1
	中国語Ⅱ	2･3前		1							1
	スペイン語Ⅱ	2･3前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	2･3前		1							1
	日本語表現法Ⅰ	1後		1		1					
	日本語表現法Ⅱ	1後		1				1			
	スポーツ･健康	1前･後	1								3
	スポーツ･実践	2･3･4前･後		1							1
	小計(21科目)	―	6	15	0	5	4	3	2	0	13
保健医療福祉教養科目群	ボランティアの世界	1前		1							1
	コミュニケーション学入門	1前		1							1
	対人コミュニケーション論	1後		1							1
	心理学概論	1前･後		1							1
	人間を知る	1前		1							1
	命の倫理	1後		1							1
	QOLの世界	1後		1							1
	こどもの世界	1後		1							1
	アスリートの世界	1後		1							1
	臨床医の世界	1後		1							1
	加齢と身体	1後		1							1
	食を楽しむ	1前		1							1
	眼の神秘	1前		1							1
	義肢装具の世界	1前		1							1
	新潟学	1後		1							1
	国際保健の世界	1後		1							1
	国民の生活と健康を支える仕組み	1前		1							1
	現代社会と経済	1前		1							1
	法学Ⅰ	1前･後		1							1
	法学Ⅱ	1前･後		1							1
	臨床の哲学	1前		1							1
	臨床技術の世界	1前		1							1
	留学の魅力	1後		1							1
	シティズンシップ教育入門	1後		1							1
	放射線の基礎と人体への影響	1前		1			1				
	新潟水俣病の理解	1前		1							1
	統計入門	1後		1							1
	一次救命処置法	1前		1							1
	小計(28科目)	―	0	28	0	0	1	0	0	0	23
保健医療福祉連携科目群	チームアプローチ入門	1後		1							1
	連携基礎ゼミ	2後	1			5	4	3	2		
	保健医療福祉連携学	3前		1							1
	保健医療福祉リスクマネジメント論	3前		1							1
	地域連携学	3後		1							1
	連携総合ゼミ	4前		1							1
	小計(6科目)	―	1	5	0	5	4	3	2	0	3

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教養科目群	基礎ゼミ	1前	1			5	4	3	**4**		
	情報処理Ⅰ	1前	1								**1**
	情報処理Ⅱ	1後	1								**1**
	情報処理Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								**2**
	英語Ⅱ	1後	1								**2**
	アカデミック英語Ⅰ	2･3･4前		1							1
	アカデミック英語Ⅱ	2･3･4後		1							1
	アカデミック英語Ⅲ	**2･3･4後**		1							1
	韓国語Ⅰ	1･2後		1							1
	中国語Ⅰ	1･2後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1･2後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1･2後		1							1
	韓国語Ⅱ	2･3前		1							1
	中国語Ⅱ	2･3前		1							1
	スペイン語Ⅱ	2･3前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	2･3前		1							1
	日本語表現法Ⅰ	1後		1		1					
	日本語表現法Ⅱ	1後		1				1			
	スポーツ･健康	**1前**	1								**1**
	スポーツ･実践	2･3･4前･後		1							1
	小計(21科目)	―	6	15	0	5	4	3	4	0	**9**
保健医療福祉教養科目群	ボランティアの世界	1前		1							1
	コミュニケーション学入門	1前		1							1
	対人コミュニケーション論	1後		1							1
	心理学概論	**1後**		1							1
	人間を知る	1前		1							1
	命の倫理	1後		1							1
	QOLの世界	1後		1							1
	こどもの世界	1後		1							**3**
	アスリートの世界	**1前**		1							1
	臨床医の世界	1後		1							1
	加齢と身体	1後		1							**4**
	食を楽しむ	1前		1							1
	眼の神秘	1前		1							1
	義肢装具の世界	**1後**		1							1
	新潟学	1後		1							1
	国際保健の世界	1後		1							1
	国民の生活と健康を支える仕組み	1前		1							1
	現代社会と経済	1前		1							1
	法学Ⅰ	**1後**		1							1
	法学Ⅱ	**1後**		1							1
	臨床の哲学	1前		1							1
	臨床技術の世界	1前		1							1
	留学の魅力	**1前**		1							1
	シティズンシップ教育入門	1後		1							1
	放射線の基礎と人体への影響	1前		1			1				
	新潟水俣病の理解	1前		1							1
	統計入門	1後		1							1
	一次救命処置法	1前		1							1
	小計(28科目)	―	0	28	0	0	1	0	0	0	**28**
保健医療福祉連携科目群	チームアプローチ入門	1後		1							1
	連携基礎ゼミ	2後	1			5	4	3	**4**		
	保健医療福祉連携学	3前		1							1
	保健医療福祉リスクマネジメント論	3前		1							1
	地域連携学	3後		1							**2**
	連携総合ゼミ	4前		1							1
	小計(6科目)	―	1	5	0	5	4	3	4	0	**4**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目群	医学概論	1前	2								1
	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	2			1					
	臨床解剖学	1前	2								1
	生理学	1前	2				1				
	生化学	1後	1			1					
	臨床薬理学	1後	1								1
	公衆衛生学	1後	1			1					
	救急医療学	1後	2				1				
	感染症・免疫学	2前		1			1				
	電気電子工学	1前	2			1					
	電気電子工学実験	1後	1			1		2	1		
	放射線生物学	2前	2			1					
	放射線生物学演習	2後		1		1					
	放射化学	2前	2				1				
	放射化学演習	2後		1			1				
	放射線物理学	2前	2			1					
	放射線物理学演習	2後	1			1					
	放射線計測学	2後	2					1			
	放射線計測学演習	3前	1					1			
	放射線計測学実験	3後	1				2	1	1		
	医療統計学	3前	2			1					
	生体医工学	2後		2		1					
	情報科学概論	1前	2					1			
	情報科学演習	1後	1					1	2		
	小計(25科目)	―	34	5	0	4	3	3	2	0	3
専門専攻科目群	診療画像検査技術学Ⅰ	2前	2				1	1			
	診療画像検査技術学Ⅱ	2後	2				2				
	診療画像検査技術学Ⅲ	3前	2				1	1			
	診療画像検査技術学実習Ⅰ	3前	1				2	2	2		
	診療画像検査技術学実習Ⅱ	3後	1				2	2	2		
	診療画像検査機器学Ⅰ	2前	2			1					
	診療画像検査機器学Ⅱ	2後	2			1					
	診療画像検査機器学実習	2後	1			2	1		2		
	画像解剖学	2前	2			1					
	画像解剖学演習	2後	1			1					
	画像診断学Ⅰ	3前	2			1					
	画像診断学Ⅱ	3後	2			1					
	画像診断学演習	3後	1			2	1				
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	2			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	3前	2			1					
	核医学検査機器学	3前	2			1					
	放射性医薬品学	3後		1		1					
	放射線治療技術学Ⅰ	2後	2				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2				1				
	放射線治療機器学	3前	2				1				
	放射線腫瘍学	3後		1			1				
	放射線治療品質管理論	3後		1			1				
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2					1			
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2					1			
	医療画像情報学実習	3前	1					2	2		
	画像工学	2前	1					1			
	医療情報学	2後		2				1			
	医療情報システム学	3前		2				1			
	放射線安全管理学	3前	2			1					
	放射線安全管理学実習	3後	1			2	1		2		
	放射線関係法規	3後	1				1				
	医療安全管理学	3後	2				1				
	医療安全管理学演習	3後		1			1				
	臨床実習Ⅰ(診療画像検査技術学)	4前	6			4	4	3	2		
	臨床実習Ⅱ(核医学検査技術学)	4前	2			4	4	3	2		
	臨床実習Ⅲ(放射線治療技術学)	4前	2			4	4	3	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目群	医学概論	1前	2								1
	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	2			1					
	臨床解剖学	1前	2								1
	生理学	1前	2				1				
	生化学	1後	1			1					
	臨床薬理学	1後	1			2					
	公衆衛生学	1後	1			1					
	救急医療学	1後	2				1				
	感染症・免疫学	2前		1			1				
	電気電子工学	1前	2			1					
	電気電子工学実験	1後	1			1		1	4		
	放射線生物学	2前	2			1					
	放射線生物学演習	2後		1		1					
	放射化学	2前	2				1				
	放射化学演習	2後		1			1				
	放射線物理学	2前	2			1					
	放射線物理学演習	2後	1			1					
	放射線計測学	2後	2					1			
	放射線計測学演習	3前	1					1			
	放射線計測学実験	3後	1				2	1	2		
	医療統計学	3前	2			1					
	生体医工学	2後		2		1					
	情報科学概論	1前	2					1			
	情報科学演習	1後	1					1	2		
	小計(25科目)	―	34	5	0	4	3	3	4	0	2
専門専攻科目群	診療画像検査技術学Ⅰ	2前	2				1	2			
	診療画像検査技術学Ⅱ	2後	2				2	1			
	診療画像検査技術学Ⅲ	3前	2				1	1			
	診療画像検査技術学実習Ⅰ	3前	1				2	2	4		
	診療画像検査技術学実習Ⅱ	3後	1				2	2	4		
	診療画像検査機器学Ⅰ	2前	2			1					
	診療画像検査機器学Ⅱ	2後	2			1					
	診療画像検査機器学実習	2後	1			2	1		3		
	画像解剖学	2前	2			1					
	画像解剖学演習	2後	1			1					
	画像診断学Ⅰ	3前	2			1					
	画像診断学Ⅱ	3後	2			1					
	画像診断学演習	3後	1			2	1				
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	2			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	3前	2			1					
	核医学検査機器学	3前	2					1			
	放射性医薬品学	3後		1		1					
	放射線治療技術学Ⅰ	2後	2				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2				1				
	放射線治療機器学	3前	2				1				
	放射線腫瘍学	3後		1			1				
	放射線治療品質管理論	3後		1			1				
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2					1			
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2					1			
	医療画像情報学実習	3前	1					2	2		
	画像工学	2前	1			1	1				
	医療情報学	2後		2				1			
	医療情報システム学	3前		2				1			
	放射線安全管理学	3前	2			1					
	放射線安全管理学実習	3後	1			2	1		3		
	放射線関係法規	3後	1				1				
	医療安全管理学	3後	2				1				
	医療安全管理学演習	3後		1			1				
	臨床実習Ⅰ(診療画像検査技術学)	4前	6			4	4	3	4		
	臨床実習Ⅱ(核医学検査技術学)	4前	2			4	4	3	4		
	臨床実習Ⅲ(放射線治療技術学)	4前	2			4	4	3	4		

	診療放射線学概論	1後	2			3	2	1			
	救急撮影技術学	3後	1				1				
	救急チーム医療論	3後		1			1				
	死亡時画像診断学	3後		1			1				
	放射線被曝管理論	3後		2			1				
	総合演習Ⅰ	4前	2			1	2	2			
	総合演習Ⅱ	4後	2			1	2	2			
	診療放射線学特論	3後	2			4	1				
	卒業研究Ⅰ	4前	2			5	4	3	2		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			5	4	3	2		
	小計(46科目)	―	68	12	0	5	4	3	2	0	0
合計(126科目)		―	109	65	0	5	4	3	2	0	41

卒業要件及び履修方法

基礎教養科目群６単位以上、保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群８単位以上、専門基礎科目群３７単位以上、専門専攻科目群７７単位以上を修得し，１２８単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：５０単位（年間））

専門専攻科目群	診療放射線学概論	1後	2			3	2	1			
	救急撮影技術学	3後	1				1				
	救急チーム医療論	3後		1			1				
	死亡時画像診断学	3後		1			1				
	放射線被曝管理論	3後		2			1				
	総合演習Ⅰ	4前	2			1	2	2			
	総合演習Ⅱ	4後	2			1	2	2			
	診療放射線学特論	3後	2			4	1				
	卒業研究Ⅰ	4前	2			5	4	3	4		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			5	4	3	4		
	小計(46科目)	―	68	12	0	5	4	3	4	0	0
合計(126科目)		―	109	65	0	5	4	3	4	0	39

卒業要件及び履修方法

基礎教養科目群６単位以上、保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群８単位以上、専門基礎科目群３７単位以上、専門専攻科目群７７単位以上を修得し，１２８単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：５０単位（年間））

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教養科目群	基礎ゼミ	1前	1			5	4	3	3		
	情報処理Ⅰ	1前	1								2
	情報処理Ⅱ	1後	1								2
	情報処理Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								2
	英語Ⅱ	1後	1								2
	アカデミック英語Ⅰ	2･3･4前		1							1
	アカデミック英語Ⅱ	2･3･4後		1							1
	アカデミック英語Ⅲ	2･3･4前･後		1							1
	韓国語Ⅰ	1･2後		1							1
	中国語Ⅰ	1･2後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1･2後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1･2後		1							1
	韓国語Ⅱ	2･3前		1							1
	中国語Ⅱ	2･3前		1							1
	スペイン語Ⅱ	2･3前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	2･3前		1							1
	日本語表現法Ⅰ	1後		1		1					
	日本語表現法Ⅱ	1後		1				1			
	スポーツ･健康	1前･後	1								4
	スポーツ･実践	2･3･4前･後		1							1
	小計(21科目)	―	6	15	0	5	4	3	3	0	14
保健医療福祉教養科目群	ボランティアの世界	1前		1							1
	コミュニケーション学入門	1前		1							1
	対人コミュニケーション論	1後		1							1
	心理学概論	1前･後		1							1
	人間を知る	1前		1							1
	命の倫理	1後		1							1
	QOLの世界	1後		1							1
	こどもの世界	1後		1							1
	アスリートの世界	1後		1							1
	臨床医の世界	1後		1							1
	加齢と身体	1後		1							1
	食を楽しむ	1前		1							1
	眼の神秘	1前		1							1
	義肢装具の世界	1前		1							1
	新潟学	1後		1							1
	国際保健の世界	1後		1							1
	国民の生活と健康を支える仕組み	1前		1							1
	現代社会と経済	1前		1							1
	法学Ⅰ	1前･後		1							1
	法学Ⅱ	1前･後		1							1
	臨床の哲学	1前		1							1
	臨床技術の世界	1前		1							1
	留学の魅力	1後		1							1
	シティズンシップ教育入門	1後		1							1
	放射線の基礎と人体への影響	1前		1			1				
	新潟水俣病の理解	1前		1							1
	統計入門	1後		1							1
	一次救命処置法	1前		1							1
	小計(28科目)	―	0	28	0	0	1	0	0	0	23
保健医療福祉連携科目群	チームアプローチ入門	1後		1							1
	連携基礎ゼミ	2後	1			5	4	3	3		
	保健医療福祉連携学	3前		1							1
	保健医療福祉リスクマネジメント論	3前		1							1
	地域連携学	3後		1							1
	連携総合ゼミ	4前		1							1
	小計(6科目)	―	1	5	0	5	4	3	3	0	3

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教養科目群	基礎ゼミ	1前	1			5	4	3	4		
	情報処理Ⅰ	1前	1								2
	情報処理Ⅱ	1後	1								2
	情報処理Ⅲ	2前		1							1
	英語Ⅰ	1前	1								2
	英語Ⅱ	1後	1								2
	アカデミック英語Ⅰ	2･3･4前		1							1
	アカデミック英語Ⅱ	2･3･4後		1							1
	アカデミック英語Ⅲ	2･3･4前･後		1							1
	韓国語Ⅰ	1･2後		1							1
	中国語Ⅰ	1･2後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1･2後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1･2後		1							1
	韓国語Ⅱ	2･3前		1							1
	中国語Ⅱ	2･3前		1							1
	スペイン語Ⅱ	2･3前		1							1
	ドイツ語Ⅱ	2･3前		1							1
	日本語表現法Ⅰ	1後		1		1					
	日本語表現法Ⅱ	1後		1				1			
	スポーツ･健康	1前･後	1								4
	スポーツ･実践	2･3･4前･後		1							1
	小計(21科目)	―	6	15	0	5	4	3	4	0	14
保健医療福祉教養科目群	ボランティアの世界	1前		1							1
	コミュニケーション学入門	1前		1							1
	対人コミュニケーション論	1後		1							1
	心理学概論	1前･後		1							1
	人間を知る	1前		1							1
	命の倫理	1後		1							1
	QOLの世界	1後		1							1
	こどもの世界	1後		1							1
	アスリートの世界	1前		1							1
	臨床医の世界	1後		1							1
	加齢と身体	1後		1							1
	食を楽しむ	1前		1							1
	眼の神秘	1前		1							1
	義肢装具の世界	1後		1							1
	新潟学	1後		1							1
	国際保健の世界	1後		1							1
	国民の生活と健康を支える仕組み	1前		1							1
	現代社会と経済	1前		1							1
	法学Ⅰ	1前･後		1							1
	法学Ⅱ	1前･後		1							1
	臨床の哲学	1前		1							1
	臨床技術の世界	1前		1							1
	留学の魅力	1前		1							1
	シティズンシップ教育入門	1後		1							1
	放射線の基礎と人体への影響	1前		1			1				
	新潟水俣病の理解	1前		1							1
	統計入門	1後		1							1
	一次救命処置法	1前		1							1
	小計(28科目)	―	0	28	0	0	1	0	0	0	23
保健医療福祉連携科目群	チームアプローチ入門	1後		1							1
	連携基礎ゼミ	2後	1			5	4	3	4		
	保健医療福祉連携学	3前		1							1
	保健医療福祉リスクマネジメント論	3前		1							1
	地域連携学	3後		1							1
	連携総合ゼミ	4前		1							1
	小計(6科目)	―	1	5	0	5	4	3	4	0	2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目群	医学概論	1前	2								1
	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	2			1					
	臨床解剖学	1前	2								1
	生理学	1前	2				1				
	生化学	1後	1			1					
	臨床薬理学	1後	1			2					
	公衆衛生学	1後	1			1					
	救急医療学	1後	2				1				
	感染症・免疫学	2前		1			1				
	電気電子工学	1前	2			1					
	電気電子工学実験	1後	1			1		1	2		
	放射線生物学	2前	2			1					
	放射線生物学演習	2後		1		1					
	放射化学	2前	2				1				
	放射化学演習	2後		1			1				
	放射線物理学	2前	2			1					
	放射線物理学演習	2後	1			1					
	放射線計測学	2後	2					1			
	放射線計測学演習	3前	1					1			
	放射線計測学実験	3後	1				2	1	1		
	医療統計学	3前	2			1					
	生体医工学	2後		2		1					
	情報科学概論	1前	2					1			
	情報科学演習	1後	1					1	2		
	小計(25科目)	―	34	5	0	4	3	3	3	0	3
専門専攻科目群	診療画像検査技術学Ⅰ	2前	2				1	2			
	診療画像検査技術学Ⅱ	2後	2				2	1			
	診療画像検査技術学Ⅲ	3前	2				1	1			
	診療画像検査技術学実習Ⅰ	3前	1				2	2	3		
	診療画像検査技術学実習Ⅱ	3後	1				2	2	3		
	診療画像検査機器学Ⅰ	2前	2			1					
	診療画像検査機器学Ⅱ	2後	2			1					
	診療画像検査機器学実習	2後	1			2	1		2		
	画像解剖学	2前	2			1					
	画像解剖学演習	2後	1			1					
	画像診断学Ⅰ	3前	2			1					
	画像診断学Ⅱ	3後	2			1					
	画像診断学演習	3後	1			2	1				
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	2			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	3前	2			1					
	核医学検査機器学	3前	2					1			
	放射性医薬品学	3後		1		1					
	放射線治療技術学Ⅰ	2後	2				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2				1				
	放射線治療機器学	3前	2				1				
	放射線腫瘍学	3後		1			1				
	放射線治療品質管理論	3後		1			1				
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2					1			
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2					1			
	医療画像情報学実習	3前	1					2	2		
	画像工学	2前	1			1	1				
	医療情報学	2後		2				1			
	医療情報システム学	3前		2				1			
	放射線安全管理学	3前	2			1					
	放射線安全管理学実習	3後	1			2	1		3		
	放射線関係法規	3後	1				1				
	医療安全管理学	3後	2				1				
	医療安全管理学演習	3後		1			1				
	臨床実習Ⅰ(診療画像検査技術学)	4前	6			4	4	3	3		
	臨床実習Ⅱ(核医学検査技術学)	4前	2			4	4	3	3		
	臨床実習Ⅲ(放射線治療技術学)	4前	2			4	4	3	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
専門基礎科目群	医学概論	1前	2								1
	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2			1					
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	2			1					
	臨床解剖学	1前	2								1
	生理学	1前	2				1				
	生化学	1後	1			1					
	臨床薬理学	1後	1			2					
	公衆衛生学	1後	1			1					
	救急医療学	1後	2				1				
	感染症・免疫学	2前		1			1				
	電気電子工学	1前	2			1					
	電気電子工学実験	1後	1			1		1	4		
	放射線生物学	2前	2			1					
	放射線生物学演習	2後		1		1					
	放射化学	2前	2				1				
	放射化学演習	2後		1			1				
	放射線物理学	2前	2			1					
	放射線物理学演習	2後	1			1					
	放射線計測学	2後	2					1			
	放射線計測学演習	3前	1					1			
	放射線計測学実験	3後	1				2	1	2		
	医療統計学	3前	2			1					
	生体医工学	2後		2		1					
	情報科学概論	1前	2					1			
	情報科学演習	1後	1					1	2		
	小計(25科目)	―	34	5	0	4	3	3	4	0	2
専門専攻科目群	診療画像検査技術学Ⅰ	2前	2				1	2			
	診療画像検査技術学Ⅱ	2後	2				2	1			
	診療画像検査技術学Ⅲ	3前	2				1	1			
	診療画像検査技術学実習Ⅰ	3前	1				2	2	4		
	診療画像検査技術学実習Ⅱ	3後	1				2	2	4		
	診療画像検査機器学Ⅰ	2前	2			1					
	診療画像検査機器学Ⅱ	2後	2			1					
	診療画像検査機器学実習	2後	1			2	1		3		
	画像解剖学	2前	2			1					
	画像解剖学演習	2後	1			1					
	画像診断学Ⅰ	3前	2			1					
	画像診断学Ⅱ	3後	2			1					
	画像診断学演習	3後	1			2	1				
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	2			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	3前	2			1					
	核医学検査機器学	3前	2					1			
	放射性医薬品学	3後		1		1					
	放射線治療技術学Ⅰ	2後	2				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	3前	2				1				
	放射線治療機器学	3前	2				1				
	放射線腫瘍学	3後		1			1				
	放射線治療品質管理論	3後		1			1				
	医療画像情報学Ⅰ	2前	2					1			
	医療画像情報学Ⅱ	2後	2					1			
	医療画像情報学実習	3前	1					2	2		
	画像工学	2前	1			1	1				
	医療情報学	2後		2				1			
	医療情報システム学	3前		2				1			
	放射線安全管理学	3前	2			1					
	放射線安全管理学実習	3後	1			2	1		4		
	放射線関係法規	3後	1				1				
	医療安全管理学	3後	2				1				
	医療安全管理学演習	3後		1			1				
	臨床実習Ⅰ(診療画像検査技術学)	4前	6			4	4	3	4		
	臨床実習Ⅱ(核医学検査技術学)	4前	2			4	4	3	4		
	臨床実習Ⅲ(放射線治療技術学)	4前	2			4	4	3	4		

	診療放射線学概論	1後	2			3	2	1			
	救急撮影技術学	3後	1				1				
	救急チーム医療論	3後		1			1				
	死亡時画像診断学	3後		1			1				
	放射線被曝管理論	3後		2			1				
	総合演習Ⅰ	4前	2			1	2	2			
	総合演習Ⅱ	4後	2			1	2	2			
	診療放射線学特論	3後	2			4	1				
	卒業研究Ⅰ	4前	2			5	4	3	3		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			5	4	3	3		
	小計(46科目)	ー	68	12	0	5	4	3	3	0	0
合計(126科目)		ー	109	65	0	5	4	3	3	0	41

卒業要件及び履修方法

基礎教養科目群６単位以上、保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群８単位以上、専門基礎科目群３７単位以上、専門専攻科目群７７単位以上を修得し，１２８単位以上修得すること。
（履修科目の登録の上限：５０単位（年間））

専門専攻科目群	診療放射線学概論	1後	2			3	2	1			
	救急撮影技術学	3後	1				1				
	救急チーム医療論	3後		1			1				
	死亡時画像診断学	3後		1			1				
	放射線被曝管理論	3後		2			1				
	総合演習Ⅰ	4前	2			1	2	2			
	総合演習Ⅱ	4後	2			1	2	2			
	診療放射線学特論	3後	2			4	1				
	卒業研究Ⅰ	4前	2			5	4	3	4		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			5	4	3	4		
	小計(46科目)	ー	68	12	0	5	4	3	4	0	0
合計(126科目)		ー	109	65	0	5	4	3	4	0	40

卒業要件及び履修方法

基礎教養科目群6単位以上、保健医療福祉教養科目群および保健医療福祉連携科目群8単位以上、専門基礎科目群37単位以上、専門専攻科目群77単位以上を修得し，128単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限:50単位(年間))

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（注）・　２（１）―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
58 科目	18 科目	0 科目	126 科目	65 科目 [7]	61 科目 [43]	0 科目 [0]	126 科目 [0]	必須、選択科目数を設置時の計画にて誤記の為、修正（２）

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　<u>履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。</u>
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（該当なし）

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{126} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
（1）校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	新潟食料農業大学敷地への用途変更（30） 錯誤（2）
	校舎敷地	71,428.00㎡ ~~67,198.76㎡~~ ~~71,428.00㎡~~	0㎡	0㎡	71,428.00㎡ ~~67,198.76㎡~~ ~~71,428.00㎡~~	
	運動場用地	58,612.00㎡	0㎡	0㎡	58,612.00㎡	
	小計	130,040.00㎡ ~~125,810.76㎡~~ ~~130,040.00㎡~~	0㎡	0㎡	130,040.00㎡ ~~125,810.76㎡~~ ~~130,040.00㎡~~	
	その他	98,365㎡ ~~116,397.82㎡~~ ~~118,309.40㎡~~ ~~118,316.00㎡~~	0㎡	0㎡	98,365㎡ ~~116,397.82㎡~~ ~~118,309.40㎡~~ ~~118,316.00㎡~~	キャンパス整備に係る構内道路の整備拡張に伴う新潟市への道路寄付（元） 錯誤（2）
	合計	228,405.00㎡ ~~242,208.58㎡~~ ~~244,120.16㎡~~ ~~248,356.00㎡~~	0㎡	0㎡	228,405.00㎡ ~~242,208.58㎡~~ ~~244,120.16㎡~~ ~~248,356.00㎡~~	
（2）校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	登記面積に修正（30） 法人事務局設置及び錯誤（2）
		51,489.83㎡ ~~51,556.56㎡~~ ~~51,599.19㎡~~ （51,489.83㎡） ~~（51,556.56㎡）~~ ~~（51,599.19㎡）~~	0㎡ （　0㎡）	0㎡ （　0㎡）	51,489.83㎡ ~~51,556.56㎡~~ ~~51,599.19㎡~~ （51,489.83㎡） ~~（51,556.56㎡）~~ ~~（51,599.19㎡）~~	

（3）教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	47室	35室 ~~37室~~ ~~35室~~	109室 ~~107室~~	―　室 （補助職員　―　人）	―　室 （補助職員　―　人）	研究室から転用（30） 錯誤（2）

（4）専任教員研究室	新設学部等の名称	室数
	医療技術学部　診療放射線学科	18　室

（5）図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点
	診療放射線学科	300〔30〕 （488（33））	8〔0〕 （11（1））	8〔0〕 （81（73））	8 （10）	484 （484）	23 （23）
	計	300〔30〕 （488（33））	8〔0〕 （11（1））	8〔0〕 （81（73））	8 （10）	484 （484）	23 （23）

（6）図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	2083.82㎡	394席	105,360冊

（7）体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	
	第1体育館　1,709.43㎡ 第2体育館　630.00㎡ 第3体育館　2,630.51㎡ 第4体育館　1,807.38㎡	屋内プール　25m×6コース 硬式野球グラウンド　1面 テニスコート　4面	屋内走路　1棟 屋内野球練習場　1棟 クラブハウス　1棟

（8）経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り 区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	3,000千円	3,000千円	6,000千円
共同研究費等	1,000千円	6,500千円	設備購入費	539,300千円	5,000千円	5,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,950千円	1,650千円	1,650千円	1,650千円	―　千円	―　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、雑収入　等

備考：図書購入費には電子ジャーナル、データベース等の整備費（運用コスト含む）を含む。

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「（５）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	新潟医療福祉大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
リハビリテーション学部	4	250	—	1000	—	1.08	1.10	—	平成30	—	
理学療法学科	4	120	—	480	学士（理学療法学）	1.12	1.12	—	平成30	新潟県新潟市北区島見町1398番	
作業療法学科	4	50	—	200	学士（作業療法学）	0.99	1.00	—	平成30	同上	
言語聴覚学科	4	40	—	160	学士（言語聴覚学）	1.08	1.12	—	平成30	同上	
義肢装具自立支援学科	4	40	—	160	学士（義肢装具自立支援学）	1.04	1.12	—	平成30	同上	
医療技術学部	4	295	—	1180	—	1.01	1.00	—	平成13	—	
理学療法学科	4	—	—	—	学士（理学療法学）	—	—	—	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
作業療法学科	4	—	—	—	学士（作業療法学）	—	—	—	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
言語聴覚学科	4	—	—	—	学士（言語聴覚学）	—	—	—	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
義肢装具自立支援学科	4	—	—	—	学士（義肢装具自立支援学）	—	—	—	平成19	同上	平成30年度より学生募集停止
臨床技術学科	4	100	—	400	学士（臨床技術学）	1.04	1.00	—	平成23	同上	平成30年度より定員変更（20）
視機能科学科	4	50	—	200	学士（視機能科学）	1.01	1.04	—	平成26	同上	
救急救命学科	4	55	—	220	学士（救急救命学）	1.00	1.00	—	平成29	同上	
診療放射線学科	4	90	—	360	学士（診療放射線学）	1.00	1.00	—	平成30	同上	
健康科学部	4	240	3年次 5	970	—	1.08	1.09	—	平成19	—	
健康栄養学科	4	40	—	160	学士（健康栄養学）	1.09	1.07	—	平成19	同上	
健康スポーツ学科	4	200	3年次 5	810	学士（健康スポーツ学）	1.08	1.09	—	平成19	同上	
看護学科	4	—	—	—	学士（看護学）	—	—	—	平成19	同上	平成30年度より学生募集停止
看護学部	4	107	3年次 3	434	—	1.00	1.00	—	平成30	—	
看護学科	4	107	3年次 3	434	学士（看護学）	1.00	1.00	—	平成30	同上	
社会福祉学部	4	120	3年次 5	490	—	1.09	1.04	—	平成13	—	
社会福祉学科	4	120	3年次 5	490	学士（社会福祉学）	1.09	1.04	—	平成13	同上	
医療経営管理学部	4	80	3年次 5	330	—	1.09	1.07	—	平成22	—	
医療情報管理学科	4	80	3年次 5	330	学士（医療情報学）	1.09	1.07	—	平成22	同上	
大学全体	4	1,092	18	4,404	—	1.06	1.05	—	—	—	

医療福祉学研究科	2 3	40 10	—	80 30	—	1.12 1.20	1.02 1.20	—	平成17	—	
保健学専攻（M）	2	21	—	42	修士（保健	1.11	1.04	—	平成17	新潟県新潟市北区島見町1398番	
社会福祉学専攻（M）	2	5	—	10	修士（社会福祉学）	0.70	0.40	—	平成17	同上	
健康科学専攻（M）	2	10	—	20	修士（健康科学）	1.35	1.20	—	平成19	同上	
医療情報・経営管理学専攻（M）	2	4	—	8	修士（医療情報・経営管理学）	1.12	1.25	—	平成26	同上	
医療福祉学専攻（D）	3	10	—	30	博士（保健学）	1.20	1.20	—	平成19	同上	平成30年度より定員変更（2）
大学院全体	2 3	40 10	—	110	—	1.14	1.06	—	—	—	

大学の名称	新潟食料農業大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
食料産業学部	4	180	—	720	—	0.74	0.86	—	平成30	—	
食料産業学科	4	180	—	720	学士（食料産業学）	0.74	0.86	—	平成30	新潟県新潟市北区島見町940番地 新潟県胎内市平根台2416番地	
大学全体	4	180	—	720	—	0.74	0.86	—	—	—	

大学の名称	事業創造大学院大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
事業創造研究科	2	80	—	160	—	0.95	0.95	—	平成18	—	
事業創造専攻（M）	2	80	—	160	経営学修士（専門職）	0.95	0.95	—	平成18	新潟県新潟市中央区米山3-1-46	
大学全体	2	80	—	160	—	0.95	0.95	—	—	—	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

（２）専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
9 名	5 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
5	4	3	2	14	0	5	4	3	4	16	0
(3)	(2)	(2)	(1)	(8)	[　]						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
5	4	3	4	16	0	5	4	3	4	16	0
[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[　]	[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	[　]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65（講師以上） 60（助教・助手） 歳	0 名	2 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{14} = 114.28\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{16} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

６　附帯事項等に対する履行状況等

＜看護学部看護学科＞

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
設　置　時 （平成29年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	就任辞退の教員が生じた際には速やかに教員公募を行っている。しかし、教育研究業績や学生指導の熱意等を十分に満たす応募者のみとは限らないため、就任辞退者（助教以上）の欠員が未充足の状況にある。一方、助手の人数は設置計画よりも多く在任しており、助教への昇任を見据えて教育研究能力の向上を図っている。（30）	履行中	今後の教員公募を継続していくが、特に教員体制の強化が必要となる成人看護学、高齢者看護学の各分野の専任教員の補充を今年度は優先する。また、他の分野では、長期的に安定した体制としていくため、６０歳未満の比較的若い教員の採用を重視するとともに、大学院における学位取得やFD等を通して教育研究能力の向上していく。（30）
設置計画履行状況 調　査　時 （平成31年）	該当なし				
設置計画履行状況 調　査　時 （令和2年）	該当なし				

＜医療技術学部救急救命学科＞

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
設　置　時 （平成28年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	高い専門知識を有する専任教員を採用した結果、現在の教員配置になった。平成２９年４月に４０歳代の助教１名を採用した。今後も中堅・若手専任教員を採用し、年齢構成のバランスを考慮した教員組織を編成していく。（２９）	履行中	現在、新たに専任教員を採用するため、講師または助教または助手を計３名公募している。
設置計画履行状況 調　査　時 （平成30年）	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	平成３０年５月７日付で助手２名（ともに２０歳代）の採用が決定している。今後も若手・中堅教員を積極的に採用し、年齢構成のバランスに配慮した教員組織編制を作り上げていく所存である。（３０）	履行中	年齢構成のバランスのとれた教員組織編制とするために、現在、講師１名、助教または助手２名の公募を行っている。
設置計画履行状況 調　査　時 （平成31年）	該当なし				
設置計画履行状況 調　査　時 （令和2年）	該当なし				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜医療技術学部　診療放射線学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	（該当なし）

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・平成17（2005）年4月に教育開発委員会内の担当部会を分離独立し、ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会を設置している。

・平成28（2016）年度より、事務局の各部課職員から構成されるSD推進委員会を設置している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・FD委員会：各学科専任教員（1名）と事務局教務課職員（2名）から構成され、月1回（年11回）開催している。

・SD推進委員会：月1回（年12回）開催している。教員は委員として加わっていない。

ｃ　委員会の審議事項等

＜FD委員会＞

(1) FD委員会活動全般の年間計画について
(2) 新年度新任教員FDの実施内容・スケジュールについて
(3) 学内FDについて
(4) 学外FDについて
(5) 部会活動（FD・SD推進部会、教育推進部会、学生支援部会、授業評価法改訂部会、グローバル化推進部会）について
(6) その他

＜SD推進委員会＞

(1) SD推進委員会活動全般の年間計画について
(2) 新任職員対象のSD研修について
(3) その他

② 実施状況

a 実施内容

＜FD・SD共通＞

(1) 教職員対象とした活動

・FD・SD共催ランチョンセミナー（担当業務や高等教育を取り巻く課題・トピック等の紹介：年6回開催）

＜FD＞

(1) 教職員対象とした活動

・ベストティーチャーと語る会（各授業を受講した学生との対談：年2回開催）

・メディア授業に関するセミナー（年3回開催）

・"スローラーナー"に寄り添う学生支援FD研修会（年1回開催）

(2) 教員対象とした活動

・新任教員FD（年1回）

・カリフォルニア州立大学フレズノ校のFDプログラムへの教員派遣報告会（年1回開催）

(5) 上記各活動を実施するための部会開催

・FD・SD推進部会	令和2（2019）年度	5回開催
・教育推進部会	令和2（2019）年度	6回開催
・学習支援部会	令和2（2019）年度	7回開催
・授業評価法改訂部会	令和2（2019）年度	7回開催
・グローバル化推進部会	令和2（2019）年度	3回開催

(6) 学外FD支援

学外FDの案内があった際には、事務局からメール等により周知している。

＜SD＞

(1) 事務職員のみを対象とした活動

・春の職員会（各部課の前年度の振り返り、当年度の目標、施策等の発表）

・秋の職員会（大学の人材養成の方針STEPS（5つの要素）に則した職員力の養成研修の実施）

(2) 教職員を対象とした活動

・FD・SD共催ランチョンセミナー（担当業務や高等教育を取り巻く課題・トピック等の紹介：年6回開催）

・外部認証評価に関するセミナー

(3) 上記各活動を実施するための委員会開催（月1回）

b 実施方法

＜FD＞

・学内： 全教員宛にメール配信により、学内で実施するFD活動開催を周知し、参加を促している。
実施後は、参加者アンケートにより、内容等の満足度や所感を記載してもらい、次回の開催に活かしている。

・学外： FD委員会において、学外からの案内を委員長から委員に周知し、各学科で参加者を募っている。
参加した場合、報告書の提出を求め、委員会および合同教授会にて資料報告を行っている。
FD委員会の内規に基づき、参加費用を補助している。

＜SD＞

・学内： SD推進委員会が実施する活動のうち、各部課が担当する業務ならびに高等教育を取り巻く課題の紹介等、教育研究の維持向上に資するテーマについては、全教員にも実施をメールにて周知し、参加を促している。

・学外： 実施テーマに直結する事務局の当該部課の職員が参加し、事後に報告書を作成し、学内で共有している。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

＜FD＞

・令和2（2019）年度は前年度に引き続きSD活動と連携し教員の他、事務職員も参加した。
その他、メディア授業に関するFD、学生支援のためのFD等を実施し、各教員個人が必要だと考えるテーマのFDに毎回20～30名程度の教員が参加している。

＜SD＞

・SD活動は事務職員を主体とした内容としつつも、各部課が担当する業務ならびに高等教育を取り巻く課題などの紹介等、教育研究の維持向上に資するテーマについては、関心に応じて毎回、10～15名程度の教員が参加している。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・令和2（2019）年度は、授業評価のあり方について合同教授会にて学内教員に対し理解度を促進させるプレゼンテーションを実施した。これを受け、実際の授業評価の回答率向上につなげ、学生の声をより多く回収する取り組みを行い、結果を授業における改善策の参考の一助としている。

・実施された授業評価アンケートについては、ポータルサイトに全集計結果を掲出しており、学生からの評価に対するフィードバックを教員が実施している。また、授業評価アンケート結果はベストティーチャー表彰に活用され、教員の意欲的な授業改善に役立っている。また、ベストティーチャー選出教員および当該教員担当科目履修学生の声を聴く機会としてセミナーを開催し、各教員の授業力向上のための手法の紹介としている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

・前期（前半・後半および通期）、後期（前半・後半および通期）に開講される科目について学生が回答し、評価している。
2018年度後期からWEB方式へ移行し、ポータルサイト上で実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

・アンケートの集計結果を学生・教職員に学内ポータルサイト内で公表している。また、教職員には結果をもとに学生へのフィードバックを依頼し、これについてもポータルサイト内で公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

わが国の高齢化がますます進展する中、がんの患者数は年々増加傾向にあり、放射線を利用した画像検査やがん治療は必要性を増している。平成24(2012)年策定の「がん対策推進基本計画」では「重点的に取り組むべき課題」として「放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成」があげられ、医療従事者間の連携と補完を重視した多職種でのチーム医療を推進する必要性が指摘されている。画像診断機器及び放射線治療機器の高度化に伴い、チーム医療の一員として高い専門的知識と高度な技術を持った診療放射線技師が求められている。

平成29（2017）年3月において新潟県を含む、東北、北陸並びに関東地域における診療放射線技師養成校数は限られており、各県人口10万人当たりの診療放射線技師数は全国平均を下回っている県が多くみられる。人材需要の観点から必要性は高いと判断し設置された。

平成30年4月に9名の専任教員（教授3、准教授2、講師2、助教2）が着任し、入学生90名を迎え初年度の教育課程を開始した。

設置2年目は、平成31年4月に着任予定6名の専任教員（教授2、准教授2、講師1、助教1）と、新たに1名の助教を採用し、設置届出時より2名多い専任教員16名（教授5、准教授4、講師3、助教4）となり充実した教員組織となった。2回生90名を加え、総勢180名で教育課程を継続開始した.

令和2年度は1学年から3学年まで総勢270名態勢のなか，卒業研究のためのゼミ体制の構築や翌年度の臨床実習生受入の準備を開始した.

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成３０(2018）年３月３１日　公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、県内の大学及び医療福祉系の大学（約20校）に配布した。

③ 認証評価を受ける計画

・令和２(2020）年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和２年度）

a 公表予定の有無 〔 ○有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ ○公表後３ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 ○ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。